

学びの道(学びのたより)

学校だより 第 8 号
令和 8 年 6 月 11 日
狹山市立堀兼中学校
校長 田中正悟

『あとひとつ』

常に前を向き、未来の光を見つめ、前進！

『「思い」と「想い」』

【生徒総会】

少しお知らせが遅くなってしまいましたが、5月20日（水）に生徒総会が体育館で行われました。この生徒総会は、生徒の皆さんにとって、とても重要な『総会』です。生徒の皆さんの意思と総意と行動によって、堀兼中学校をよりよく築いていこうという、意思を確認し、決議していく会です。壇上の皆さんも、フロアの皆さんも、真摯にそして真剣に取り組んでいました。堀中生の素敵さ、素晴らしさを感じさせてもらった総会でした。

写真を掲載しました。

【掲額式】

6月5日（金）、堀兼中学校前校長先生であられます和田雅士先生の掲額式を校長室にて行いました。掲額式の意味は、前校長先生の努力と功績をたたえると共に、これから先も在籍していた学校の発展を見守るという意味があるとのこと。和田校長先生は、第24代の校長先生であられました。今、私は24名の歴代校長先生から見守られ、校長としての重責を担っております。堀兼中学校の生徒一人一人が学びを通し、自律し、自立し、そして未来の社会を生き抜いていく力を自ら獲得してゆく教育を、本校教職員と共につくってまいります。

写真を掲載しました。

【学校朝会】

6月2日（火）、学校朝会がありました。この日、生徒の皆さんに伝えたこと、伝えなかったことは次の内容です。

『『善なる個性』。君たちは一人一人、素敵な個性の種を持っています。その個性の種が育っていくには、豊かな土壌が必要です。その土壌があってこそ、芽が出て、双葉が出て、茎が伸びて、花が咲いて、実がなるのです。その土壌となるのが、一人一人の『心の持ち方、心の有り様』だと思うのです。明るく、温かく、他に優しい心、人の良いところを感じとり、他者を受容し、他者を認めていくような人の土壌には、種は育ち、そうしてやがてはきれいな花、素敵な実がなるのではないかと思います。それが、善なる個性。逆に、暗く、冷たく、他に意地悪、人の悪いところばかりを感じ取り、他者を拒否し、他者を認めないような人の土壌には、悪なる個性が生じる、あるいは、その個性の種自体が育たず腐ってしまうことになっていくのではないのでしょうか。堀兼中の皆さんには、『善なる個性』の『きれいな花』をたくさん咲かせほしいと校長の私は願っています。そしてその『善なる個性』の『素敵な実』をたくさんの人に与えて、その人にその素敵な味を味わった人が、自分もそうになっていきたい、そんな人になっていきたいと思い、そうしてやがてその『善なる個性』が世界中に広がり、世界がきれいな花や素敵な実で満ち満ちて、笑顔でいっぱいになっていくことを、私は願っています。

今日も読んでくださって、
ありがとうございます。
読んでいただけることに
感謝です。

【生徒の皆さんへ】

各クラスの Teams、学年の Teams に、『学校だより』を載せています。時間がある時に、ね !(*^o^*)!。

3年生学総前臨時学年朝会

学校総合体育大会を直前に控えた6月5日(金)の朝、3年生は臨時で学年朝会を開きました。そこには、3年生の心がひとつになった『心ひとつの輪』がありました。運動部の部長が一人一人代わる代わる、学総に向けての思いや、今まで仲間と共に汗を流してきた中で抱いた思い等を、輪の真ん中で語っていました。中には、涙する部長や部員の姿も見られました。そして何より、3学年の皆さんの『和』が、とってもとっても素敵でした。私は写真を撮りながら、感動していました。部活動の大会は勝負事、勝つこともあれば負けることもあります。最後まで勝ち続ける個人やチームは、全国大会での優勝者のみ。その他は、必ずどこかで負けてしまいます。けれど、君たちが今まで頑張ってきたこと、仲間と共に積み重ねてきた時間や体験は、何も変わることなく、これからもずっと君の中に息づいていきます。それが宝です。忘れないでね。

写真を掲載しました。

【学校総合体育大会】

笑顔があった。涙があった。汗があった。嬉しい思いがあった。悔しい思いがあった。試合に臨んでいる君たちは、君は、素敵だった。そして、その周りには、応援があった。仲間からの応援、保護者からの応援、熱い気持ちや温かな気持ちで満ちあふれていた。有り難い。

試合は勝負事だから、最後には勝ち負けがつく。けれど、負けたからと言ってダメだったわけではない。負けから気づきを得ることもある。学ぶこともたくさんある。その学びは、必ず君の人生に生きる。

堀中生の君たちに、学総の君の試合を目にした私が、もしよかったら、君に聴いてほしい歌があります。FUNKY MONKEY BABY'S の『あとひとつ』です。君の試合を観て、応援していて、そして試合が終わったとき、この歌が私の頭の中をめぐっていました。

写真を掲載しました。

